

児童・生徒の一人一台端末を活用した相談体制の充実



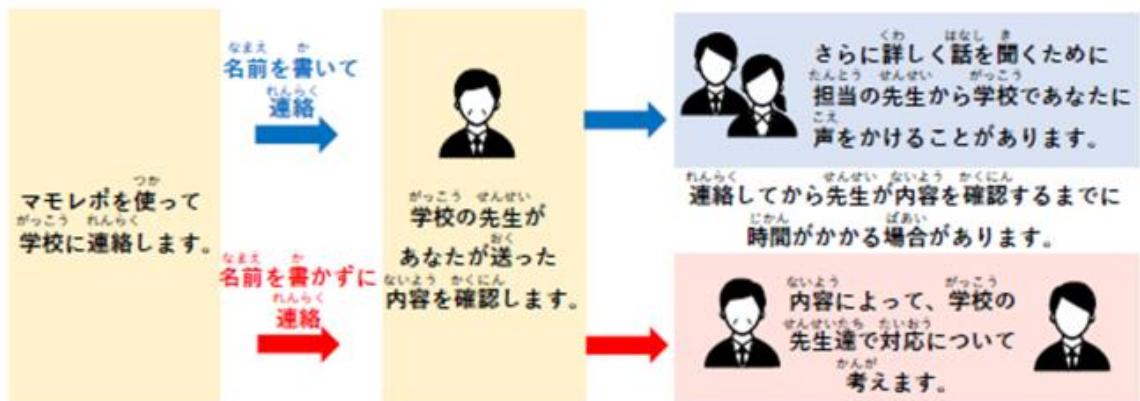
本市では、令和4年9月より、いじめ防止相談ツール「マモレポ」を導入しています。

児童・生徒（小学4年生以上）が、いじめをはじめとする様々な困りごとを、学習用一人一台端末を使って学校へ相談することができます。

相談すること自体へのハードルを下げるため匿名で相談できる設定にしていますが、命の危険が考えられるような場合は、業者へ依頼すれば相談者を特定することも可能です。

いじめ防止相談ツール「マモレポ」は、**子ども達のヘルプサイン**を受け取るためのアプリです。

マモレポでの相談の流れ



これまでの相談状況（学年別）

学年	月 9月 ~ 10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4 計	4月	5月	合計
小4	5	3	2	0	3	1	14	0	4	18
小5	20	7	0	4	8	1	40	0	3	43
小6	8	1	1	2	1	4	17	5	1	23
中1	20	1	3	1	2	1	28	0	1	29
中2	8	2	0	0	2	1	13	2	1	16
中3	8	3	9	1	0	0	21	0	0	21
合計	69	17	15	8	16	8	133	7	10	150

- 令和5年5月までに150件もの相談が寄せられ、相談ツールとして、児童生徒にとって使いやすいものになっていることがわかります。
- 匿名で相談できるので、相談することに対しての不安な気持ちを軽減できています。
- 子どもたちのSOSに対する教職員の早期対応につながっています。
- 「SOSを出してもいい」という、子どもたちの安心感にもつながっています。